

大規模災害時の 明德地区の医療・介護 連携を考える

～京都の地域ケア会議から学ぶ防災研修会～

概要

いよいよ台風大雨シーズン。このたび、千代川にほど近い明德地区の介護サービス6事業所が連携し、平時および大規模災害への対応について、京都市紫竹地域包括支援センターの取組を学ぶ研修会を企画しました。実際に大規模災害が発生した場合、施設内での垂直避難を要する利用者への支援や、在宅高齢者・そのご家族が避難所で困難な状況に直面することが予想されます。研修会を通して地区内の専門職による連携体制を築くことで、災害時にも迅速かつ的確な支援が可能となり、利用者や患者の安心につながります。この研修が、明德地区の防災力をより一層高める一助となることを願っています。

講師

京都市 紫竹地域包括支援センター

センター長 小林舞見 氏（医療法人葵会）



日時

令和7年8月21日（木）14：00～15：30（13：45より受付）

場所

鳥取市役所本庁舎 市民交流センター多目的室1（麒麟 Square）

※庁舎売店横の階段を上がって二階の奥にあります。

定員

50名まで

参加費

無料

申し込み

令和7年8月15日（金）までに、右のQRコードを
スマホのカメラで読み取って、サイトからお申込みください。



主催

明德地区介護事業所ネットワーク

協力：社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会

開催事務局：社会福祉法人地域でくらす会 いくのさん家

TEL 0857-51-0370

※本研修会は「鳥取県介護職員・小規模作業所グループ支援事業補助金」を活用して開催します。